

	項目	課題・問題点	解決策(行政)	解決策(地域)	解決策(その他)	まとめ	政策検討会議	担当課	担当委員会	
全 市 的 な 課 題	1	ごみ減量施策 ごみ処理がどのようになされているのか ごみ処理の場所について ごみ袋の値上げの行方 プラ回収週一、資源集積所の数が不足 今年の夏に資源リサイクルセンターを17時から15時に変更された事。大変困りました。来年度からは時短をやめてほしい。 浄水処理/ごみ焼却見学を希望(大人の社会科見学) 産廃、赤津にもあるが、どんなものを捨てているのか疑問。瀬戸市側のしっかり監視(ドローンも含めて)してほしい 産廃の場がまことひそやかに設置されようとしている?	ごみ置き場を増やしてほしい	ごみの減量がどこまで進んでいくのか		・情報の共有化がないまま進んで良いのか? ・変更になったのに分かりやすい説明がない ・なぜの理由がない ・市民が納得していない ・説明会を開催してほしい	1	環境課	総務	
	2	ごみ減量施策の推進と充実	先進市町の状況を調べ、学べるものを活かす。 経験ある職員を育てて、施策を充実させる。 ごみ行政の政策の位置を上げる。	資源分別により地域の活性化ができる。		・ごみ減量施策については、瀬戸市は遅れており、とにかく実行することが大切。				
	3	子ども中心の施策	子供中心の施策を充実させ、市のイメージアップを図る。 不登校問題、部活動問題、学力向上などを解決する施策の充実。 通学バス、待機児童問題	学校現場、行政、地域の専門家が対等な立場で子供を育てる環境作りを予算化する。 教育委員会とは別に、教育・文化財団を予算化する。 水野地域、幡山地域に通学バスを導入する			今の子どもたちを取り巻く社会の現状を作ったのは大人達の責任である。 子ども中心の施策を充実させ推進することが、将来の日本の繁栄になる。 委員会質疑・委員会での調査研究課題として取組んでいる。	2	教育部・健康福祉部	厚文
	4	空き家問題	空き家の管理、対策がなされていない	空き家の把握をする 空き家条例を制定する 空き家対策の計画を立てる	情報提供をする		空き家条例の制定 ・空き家を管理できる制度を作り対策する	3	環境課・都市計画課	総務・都活
	5	少子高齢化(まちも人も)	まち(インフラ)もひと(後期高齢者が多い)も高齢化している。	ひととまちも高齢化している状況を解決してほしい。 市民の移動手段を確保してほしい。	市民が地域の中で解決できることを考えるべき・・・地域の問題は地域の中で完結させる。 自分たちができることを考えていくための自助や共助の仕組みづくり。	・移動の手段として「ツウツク」(東南アジアの乗り物)を活用する。 ・地域通貨を活用して、地域内で人動させる。	地域の中で自助や共助により暮らせるまちづくりが必要。 地域通貨を発行して少子高齢化のまちづくりに役立てる。 移動手段として環境負荷の少ない「ツウツク」の運行を考える。	4	まちづくり協働課・都市計画課	総務・都活
	6	高齢化(次世代に向けた地域の担い手不足)		人もお金も削減され、担い手不足	地域活動にDX化を取り入れる 自治会への加入率は69%に減少 不公平感のある活動になっている	・ボランティアからの脱却 ・人と人とのつながりの重要性 ・自治会費の無料化の検討	計画はあっても… ・瀬戸市のプロモーション不足 ・情報の発信能力の不足 計画はあっても、瀬戸市の情報が入ってこない。 情報の発信が伝わるようにしてほしい。			
	7	市内駅前開発(主要駅を中心とした実現可能なまちづくり開発)		大きな商業施設がない 市内にお金を使う所がない 駅近に子供を遊ばせる場所がない 図書館が古い	新瀬戸駅周辺には、土地がある 瀬戸口、中水野駅のバリアフリー化	・市内にはインターが2ヶ所あり、有効活用の検討が必要 ・クラウドファンディングの活用 ・ガバメントクラウドファンディングの活用	計画はあっても… ・瀬戸市のプロモーション不足 ・情報の発信能力の不足 計画はあっても、瀬戸市の情報が入ってこない。 情報の発信が伝わるようにしてほしい。	5	経営戦略部・都市整備部	総務・厚文・都活
8	財政(予算のつけ方)・(事務事業評価によるムダの削減)	歳入増と財政支出の適正化が必要。	行政の行うことを市民に理解されるように説明責任を果たしてほしい。 歳入増と無駄をなくしてほしい。	市の予算編成などを市民目線で監視することが必要である。		事務事業評価を行い、事業の必要または不必要を選別する。 歳入増のため「ふるさと納税」を活用する。 行政として、税金の使いみちをきちんと説明する。	6	経営戦略部・財政課	総務	
9	情報公開の徹底(市長の方向性が不明)	行政も議会も施策に対する説明不足※市民が知らない事が一番ダメ。 新しい政策(施策)について市民への説明が不十分 市民と市議とのコミュニケーションがないように思う。ギャップ 市民側からの働きかけの場、機会があまりないorあっても知らない 市政だより電子版にして紙は不要です 実質収支21億あるのに市民が暮らしやすくなるために使われていない				情報の共有化がないまま進んで良いのか? 変更になったのに分かりやすい説明がない なぜの理由がない 市民が納得していない 説明会を開催してほしい	7	経営戦略部	総務	
議 会	10	市民と議員(議会)と距離感がある	市長は何を目指しているのか方向性が見えない 議員として本気で仕事をしているのか 議会(議員)が身近な存在に感じられない	市長は、街づくりをどのようにしていくのか市民に示す ・議員の資質を上げる ・議会傍聴をしやすくする ・議会で議論を尽くす ・市長・議員とも情報を公開する		市長は情報公開を徹底する ・議員(議会)はYouTubeチャンネルを作る ・議員は更なる研鑽をつむ	×			